

おたっしやかわら版

交月



なごみ新聞

277

もくじ

2P..... 副施設長から
3P..... ケアハウス
4P..... あいあい通信
5P..... 居宅介護支援事業所
6P..... 特別養護老人ホーム
7P..... テイサービス落合

8P..... 亀山
9P..... グループホーム可部
10P..... 訪問ヘルパー
10P..... 専門家の知恵
11P..... 看護小規模多機能ホーム
7月のお誕生者さま



社会福祉法人 正仁会

2025年 7月号

副施設長から ～ この夏の“一票”が介護の明日を決める ～

皆様、こんにちは。今号では、7 月中に予定されている第 27 回参議院議員通常選挙について取り上げたいと思います。今回の選挙は、私たち介護従事者にとっても非常に重要な意味を持つ選挙になると考えています。ご承知のとおり、昨秋の衆議院選挙では与党（自民党・公明党）が単独過半数を割り込み、現在の国会では 1 議席の差が法案の可否を左右する極めて拮抗した状況が続いています。こうした情勢の中、全国に約 217 万人いる私たち介護従事者の声は、かつてないほど政治に影響を与える力を持ち得ます。

では、なぜ今回の選挙が特別なのでしょう。近年、メディアでも取り上げられているとおり、介護職の賃金格差は深刻さを増しています。厚生労働省が 2025 年 4 月に公表した最新調査によると、常勤の介護職員の平均月収は約 338,200 円。一方、大学卒の正社員の平均月収は約 369,400 円、大学院卒では約 476,700 円と報告されています。学歴や職種の違いがあるとはいえ、最大で 13 万円以上の差が存在しており、いわゆる“賃金格差の壁”は依然として高いままです。

こうした格差の是正に直結するのが、介護報酬や処遇改善加算のあり方です。これらはすべて、選挙によって選ばれた国会議員によって決まる法律や予算に基づいて決定されます。つまり、私たちの給与の行方もまた、私たち自身の「選挙行動」に委ねられていると言えます。介護が必要な高齢者の数は全国的に増加を続けており、介護人材の確保はますます困難を極めています。賃金格差がこのまま放置されれば、いずれは現場の人手不足が利用者の生活の質に深刻な影響を及ぼすことにもなりかねません。

仮に、介護従事者 217 万人のうち半数（約 100 万人）が同じ方向に投票した場合、比例代表の仕組みに照らせば 1 議席の獲得は十分に可能です。さらに、約 200 万票を集めることができれば、2 議席に迫る勢力となり、与野党が拮抗する今の国会では「キャスティングボート」を握る存在にもなり得ます。

処遇改善加算の恒久化や次期介護報酬改定（2027 年）への影響力を持つことも夢ではないと考えます。

これまで介護業界は政治的な発言力が弱いと言われてきました。しかし私たちが団結し、投票という形で声を上げれば、必ず政治は動きます。そのために今、最も大切なことは「**必ず投票に行くこと**」です。期日前投票や不在者投票を活用すれば、仕事の都合で投票に行けないという理由は成り立ちません。たった 5 分ほどの行動が、未来の介護を支える一歩になります。また、当日の投票を家族や友人と一緒に行うことで、介護の現状や課題について語り合う機会にもなるかもしれません。投票にあたっては、私たち介護業界の課題に正面から取り組む政策を掲げる政党・候補者を選ぶことが大切です。例えば、『処遇改善策（具体的な昇給額や実施時期が明示されているか）』『介護報酬改定（2027 年改定に向けた方針が示されているか）』『利用者負担（自己負担割合や保険料の見通し）』といった視点が判断の参考になります。介護保険料やサービスの自己負担、私たちの給与水準など、介護をめぐる重要な政策のすべては国会で決まります。

利用者・ご家族は家計への影響を、地域住民は災害時支援や見守り体制の充実を、**そして私たち介護従事者は賃金格差の是正を**。それぞれの立場から候補者の政策を見極め、未来に責任ある一票を投じることが求められています。

繰り返しになりますが投票所での僅か 5 分間の作業が、ご利用者の安心と私たちの働きがいある未来を切り開く第一歩となると信じています。

この夏、介護の明日を決める“一票”を、ぜひ投じましょう！

特別養護老人ホームなごみの郷
副施設長 三澤 広隆

ケアハウス

恒例の梅仕事

～手作りの味と思い出を込めて～



ケアハウスでは6月4日に6月の行事企画として、毎年恒例となった梅仕事を行いました。梅雨の季節ならではの楽しみとして、入居者の皆様に大変喜んでいただいている人気の企画です。

今年は職員の実家の庭で育った梅を使用させていただきました。売っている物に比べると見た目は少し劣りますが、ほったらかしで育った梅は良く言えば完全無農薬です。

定番の梅シロップ作りに加え、今年は小梅を使ったカリカリ梅作りにも挑戦しました。入居者の皆様には、梅のヘタ取り、梅と氷砂糖を瓶に詰める作業、そして小梅と塩をジップロックに入れて手でゴリゴリと揉む作業をお手伝いいただきました。

作業中には懐かしい思い出話も飛び交います。
「久しぶりにするよ。昔は毎年漬けとったよ。」
「こういう手先を使う作業はどんどんやったらいいんよ。」
「氷砂糖をたっぷり入れてね。」

皆様の経験に基づいたアドバイスは、とても頼もしく感じられました。長年培われた知恵と技術を教えていただきながら、和やかな雰囲気の中で作業を進めることができました。



出来上がった梅シロップとカリカリ梅は、これからの暑い夏を乗り切る大切な味方になってくれることでしょう。皆様の手で丁寧に作られた手作りの味を、今から楽しみにしています。季節の恵みを通して、入居者同士の交流も深まった素敵な一日となりました。 事務 大林

あいあいねっと 第15回ミニ講座を開催しました！！

5月24日(土)に第15回ミニ講座を実施しました！！今回は『知っておきたい 身近な防犯対策！』というテーマで、安佐北警察署の生活安全課の方にお話ししていただきました。身近に起きている特殊詐欺や、自宅でできる簡単な防犯対策、便利な防犯アプリの紹介などをしていただきました。また、お話の合間に元カープ選手の達川選手が出てくる動画や、現場で働かされている警察署の方々が熱演されている動画なども流れ、楽しく防犯対策について学ぶことができました。参加者のアンケートでは、「固定電話や携帯電話にかかる特殊詐欺に限らず、投資詐欺やロマンス詐欺など、いろいろな特殊詐欺が私たちの周りには頻繁に起こっている実態を知ることができました。被害者にならないために”自分は大丈夫”と過信せず、自分事として生活していきたいと思った」、「詐欺の対処法等、わかりやすくよかった。」等の意見がありました。落ち着いて対処し、大切な財産を守りたいですね。当日は雨で足元が悪いにも関わらず、約30名ほどの方にご参加いただきました。ありがとうございました！！



次回は、「わかりやすい任意後見制度～その人らしさが尊重されるために～」というタイトルで、7月26日(土)13:30 から開催予定です。つま行政書士事務所から行政書士の對馬啓之さんをお迎えし、任意後見制度についてわかりやすく教えていただきます。認知症などにより、自分の生活や財産を適切に管理・判断できなくなる前に、支援してほしい人や内容をあらかじめ決めておける制度です。ぜひ、大切な方とご参加ください。

フードドライブでの食材提供ありがとうございます！

●5月13日(火)に、株式会社コーヨー様より、フードドライブで集まった食材が届きました。コーヨーの吉村さんは、“あいあいねっと”のボランティアとしても活動を支えてくださっており、先日食品ロス削減推進サポーターに認定された一人です。今後とも、よろしくお願いいたします。

●6月5日(木)に、ホンダ労働組合四輪販売西中国支部の皆様より、たくさんの食品が届きました。2年前にも、フードドライブで食品を提供してくださっています。

●サンリブ様、イズミ様、ユアーズ様、無印良品様、フジ様からも店頭でのフードドライブで集まった食品を提供していただいています。

ご協力くださいました皆様、本当にありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

あいあいねっと 増井 祥子



居宅介護支援事業所

家族介護教室を開催しました

夏が近づき、蒸し暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回は、先日開催した『家族介護教室』についてご報告いたします。

5月28日(水)、口田公民館にて開催しました。テーマは「自分らしい人生を送るために 明るくACPを考えよう!」で、講師は広島市立北部医療センター安佐市民病院通院治療センターの升田志保様に務めていただきました。地域の方々12名にご参加いただき、ACPについて学びました。ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、「将来、病気や事故などで自分の意思を伝えられなくなったときに備え、どのような医療やケアを受けたいかをあらかじめ考え、話し合い、共有する取り組み」です。今回は、ACPの重要性や実践方法について、分かりやすく講義していただきました。



講義に加え、ワークショップでは「もしバナゲーム」を実施しました。「もしバナゲーム」とは、“もしものとき、どんなことを大切にしたい?”をテーマに、36枚の価値観カードから自分にとって大切な価値観を選び、話し合うゲームです。最期の迎え方について考えるのは、普段なかなか話題にしにくいものですが、ゲーム形式にすることで自然に話し合うことができました。「話すことの大切さ」や「その人らしさを支えるケアとは何か」について、深く考える貴重な機会となりました。今後もACPの考え方を日々の業務に活かし、利用者の皆さまが自分らしく人生を送るためのお手伝いをしてまいります。



居宅介護支援事業所 城明 洋子

グループホームなごみの郷可部では、今年度3回目のなごみオレンジを開催しました。今月は、紫陽花の時期なので、紫陽花のリースを作りました。グループホームからも2名の入居者様が参加して下さり、土台のリースに飾る花のレイアウトを考えながら、一生懸命花を飾られていました。

次回の「なごみオレンジ」

★日にち：7月9日(水)

★時間：13時から15時

★場所：グループホーム可部

★内容：クラフト作成や、
認知症についての講座など



<お問い合わせ>

社会福祉法人正仁会 グループホームなごみの郷 可部 TEL:082-819-0505

皆様のご参加をお待ちしております!!

担当:廣森

3 階

晴れたり曇ったりと、天気の変り変わりが多いこの時期。屋内外問わず、利用者様に楽しんでいただけるよう、日々さまざまな企画を工夫しています。

今月は「ハンドマッサージ」のイベントを行いました。マッサージには筋肉の緊張をほぐし、自律神経のバランスを整える効果があると言われており、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。「気持ちいいですか?」、「強さはどうですか?」と、エステティシャンになりきって声をかける職員に、満面の笑みで応えてくださる利用者様。職員にとっても癒しのひとときでした。

また、天気の良い日には、施設内の散歩へ出かけています。敷地内には四季折々の風景が広がり、散歩中には「玉ねぎの葉っぱが倒れてるから、もう収穫してええよ」、「昔は畑しよったんよ」といった会話も聞かれ、自然と笑顔がこぼれます。

来月も、皆様に楽しんでいただける企画を準備しています。是非お楽しみください。



4 階

5 階

今回は、4 階・5 階で行っている誕生日企画についてご紹介します。

お誕生日当日は、利用者様のご希望に合わせて、外食をしたり、施設内で職員による出し物やケーキの提供を行ったりと、個別にお祝いをしています。最近では「お刺身が食べたい」とのお声があり、職員と一緒にスーパーへ買い物に出かけました。また、ご家族様より「ケーキを一緒に食べさせてあげたい」とのご希望を受けて、ケーキ屋さんにも足を運びました。

当日は「年は取りたくないけど、誕生日は楽しかった」、「祝ってもらえて嬉しいね。来年も楽しみ」といった言葉が聞かれ、心に残る一日となりました。今後も、利用者様に喜んでいただけるような、温かいお誕生日の時間をお届けしてまいります。



デイサービス落合

～父の日会～

デイサービス落合では、6月11日(水)と12日(木)の二日間、父の日会(コマ作り&コマ回し大会)を行いました。



それぞれ個性的で色とりどりのコマが完成しました。



午前中は、ご利用者の皆さんと一緒にコマを作りました。コマの軸となる棒に、細長く切った画用紙を巻き付けていくのですが、これがなかなか難しく皆さん熱心に取り組んでおられました。思い思いのデザインに挑戦。手先を使う作業に真剣な表情を見せながらも、仕上がると自然と笑顔がこぼれていました。



午後からは作ったコマを使って、コマ回し大会を開催しました。「ちゃんとまわるかね」と心配されていましたが、問題なく全てのコマがちゃんと回り「よく回るね、まだ回ってるすごいね」と、また回ると違った模様が表れて「綺麗だね」と拍手と歓声が上がっていました。



今回は手作りコマを通して、父との思い出、父としての思い出を懐かしんでいただけたら嬉しいです。

デイサービス落合 吉本 真咲美

グループホーム亀山

～生け花～

グループホーム亀山では、2ヶ月に1回、“生け花”の時間を設けています。今回は5月22日(木)、2階・3階の利用者様にご参加いただきました。「こんなんで大丈夫かね…」と不安そうにおっしやりながらも丁寧に花を活ける方、ハサミを使わずそのまま活けられる方、無言で集中して取り組まれる方、それぞれの個性が光る素敵なひとときとなりました。



生け終えた後には「きれいだね」と笑顔で喜んでくださる姿も見られ、季節の花々とともに心温まる思い出がまた一つ増えました。これからも、皆様が楽しめる活動を大切にしていまいります。

グループホーム亀山 竹本 姫来里

デイサービス亀山

～父の日会～

皆様こんにちは。デイサービスセンター亀山では、「父の日会」を行いました。まずは居酒屋「なごみ」を開店し、ビール風のジュースと焼き鳥に見立てたフルーツで串を作りお祝いしました。コップにビール風のジュースを注ぐと泡が立ち「ええねえー。」と喜んでおられました。A様は「昔よービールを飲みよった。」と話してくださいました。職員も交じり「乾杯！」と声をそろえて、口に泡をつけながら飲まれました。皆様の表情をしておられました。

それから、6月にも入りカープも中盤に差し掛かってきたということでプチ野球を行いました。



上手にバットを振る方もおられ、的に当たると「やったー。」と、手を叩いて喜んでいらっしゃいました。これからも皆様と楽しい時間を過ごしていけたらと思います。

デイサービス亀山 植木 真奈

グループホーム可部

～「ランチ会」を行いました♪～

皆様こんにちは。グループホーム可部では 5 月 23 日(金)に「ランチ会」を開催いたしました。

今回の献立は、事前に皆様にアンケート調査を行い、「チャーハン」、「わかめスープ」、「フルーチェ」に決定しました。各料理に使用する具材を手伝っていただき、職員が隣で見守る中、「長年主婦をしていたからね。体が覚えていますよ。」とお話しされながら、とても手際よく切ってくださいました。

皆様がカットしてくださった具材を合わせて、ホットプレートを使用して慎重に炒めていき、塩コショウで味付けして完成です。皆様に味の感想を伺うと、「塩コショウの加減も良く、辛なくて美味しかったよ。」と大変好評でした。



「また次も料理をしてみたいね」というお声もいただき、職員一同とても嬉しく思っております。これからも皆様に楽しんでいただける企画を提供してまいります。

グループホーム可部 縄手 凌平

訪問ヘルパー

今年もまた暑い夏が近づいてまいりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

私事ですが、介護の仕事に就いて 20 数年、ヘルパーステーションに異動してからは 5 年目になります。この間、私生活にも変化があり、これまでの一人暮らしから高校生と大学生の孫との同居が始まりました。自分の子どもとは違う関係性に気を遣う場面もありますが、改めて「人への気遣い」について考えるきっかけとなっています。

私たちヘルパーは、ご利用者様のご自宅に伺いケアを行います。初めての訪問は今でも緊張しますが、回を重ねるごとに信頼関係が築かれていきます。最近では「ご飯は食べておられるかな」、「元気にしておられるかな」と自然に気になってしまいます。

先日、ご利用者様がご自宅の庭で咲いた花の写真を見せてくださいました。その美しさに心が癒されると同時に、「待っていてくださる存在」が私の励みになっています。これからも、訪問を楽しみにしていただけるようなケアを心がけてまいります。

ヘルパーステーション 長弘 久美子



専門家の知恵

～お部屋の中の熱中症対策～

暑さが本格化する 7 月、高齢の方を中心に室内での熱中症が増えています。自宅でも油断は禁物で何もしていなくても発症することがあります。室温は 28℃以下、湿度は 60%以下が目安です。予防策については以下に記します。

① 室内の温湿度を確認しながら、上手に冷房機器を使いましょう

湿度計で室内の状態を確認しながら、エアコンや扇風機を適切に使うことが熱中症予防につながります。肌寒く感じたときは、着るものや掛物で体温調節をするのがおすすめです。



② のどが渇く前に水分をとる習慣をつけましょう

室内ではのどの渇きを感じにくくなるため、こまめな水分補給が大切です。起床時や家事の後など、自分なりのタイミングを見つけて水分をとる習慣をつけましょう。塩分補給には経口補水液やゼリーも効果的です。

③ 睡眠と栄養を整えて、無理のない生活を心がけましょう

睡眠不足や栄養不足も熱中症リスクを高めます。生活リズムを整え、体調がすぐれない日は無理をせずにしっかり休みましょう。家族や近隣の方と声をかけ合いながら、安心・安全にこの夏を乗り切りましょう。

訪問看護ステーション 小村 郁恵

看護小規模多機能ホーム

【地域とのかかわりを通じて】

昨年に引き続き、今年も口田公民館まつりに行ってきました。

今年は5月24日(土)、25日(日)に開催され、会場には手作りの作品展示やさまざまな催しがあり、どれも大変にぎわっていました。また、ステージではフラダンスや合唱などが披露され、見ていだけで元気をもらえるようなひとときでした。普段は外出の機会が少ない利用者様にとって、地域の皆さんと触れ合えるこのような時間はとても貴重に感じます。また来年もぜひ参加できることを、今から楽しみにしております。



6月8日(日)にラ・ブリエが所在する諸木地区の地域清掃に“なごみの郷”の職員8名が参加しました。主に、道路や川沿いの草刈りを行いました。普段は何気なく通っている場所でもいざ作業してみると、想像以上に雑草が伸びており驚かされました。作業の合間に河出オオサンショウウオを見つけました。最初は、木だと思っていましたがよく見るとゆっくり動いていました。地域の方ともお話しすることができ、つながりを深める良い機会になりました。



また今年の「父の日会」では、ビール風ゼリーや枝豆を準備しました。本物のビールではありませんでしたが、泡立ちまでも再現されたゼリーは見た目も楽しく、まるで晩酌を楽しんだ日々を思い出すようなひとときを感じていただきました。

企画当日は、ご夫婦で過ごされた方もいらっしゃり、普段はなかなか伝えられない「ありがとう」という言葉も自然と口に出せて笑顔がこぼれた楽しい一日でした。

看護小規模多機能ホーム 瀬尾 麻由美

弊誌、今号から、紙面をリニューアルしての発行となりました。
 デイサービスや特別養護老人ホームの事業開始以来、少しずつサービス事業も拡大し、それに伴って弊誌も増ページなどのリニューアルを行ってまいりました。
 しかし時代は変遷するもので、ここ近年は Instagram(インスタグラム)、Facebook(フェイスブック)、YouTube(ユーチューブ)などの SNS(ソーシャルネットワークサービス)が情報交換の寵児となり、私たちもその流れに乗っかっているところです。

そんな背景の中、弊誌も紙面を縮小して、SNS などからの情報発信にも注力しているところですので、当おたっしやかわら版と共に、そちらの方にも注目して欲しく思っております。

私たちの今後の新たな情報展開にご期待ください。

矢矧 秀樹



正仁会 Instagram
QR コード

7月のお誕生者様

氏名	生年月日	年齢	氏名	生年月日	年齢
瀧村 信子 様	昭和02年07月26日	98 歳	谷井 美智子 様	昭和10年07月29日	90 歳
熊谷 タツ子 様	昭和04年07月20日	96 歳	矢矧 圭子 様	昭和11年07月05日	89 歳
応野 平子 様	昭和05年07月20日	95 歳	谷本 實 様	昭和11年07月05日	89 歳
吉本 義生 様	昭和07年07月15日	93 歳	井原 清 様	昭和11年07月12日	89 歳
石井 公子 様	昭和07年07月25日	93 歳	増田 ミエ子 様	昭和12年07月12日	88 歳
亀田 麗子 様	昭和08年07月11日	92 歳	多岐 亨 様	昭和14年07月13日	86 歳
荒木 祐子 様	昭和08年07月16日	92 歳	水尻 千代子 様	昭和15年07月23日	85 歳
神田 西學 様	昭和08年07月22日	92 歳	中土井 誠治 様	昭和16年07月16日	84 歳
寺西 宗子 様	昭和09年07月30日	91 歳	芳本 紘治 様	昭和16年07月28日	84 歳
内藤 ルミ子 様	昭和10年07月01日	90 歳	津川 洋子 様	昭和17年07月16日	83 歳
宮崎 節子 様	昭和10年07月05日	90 歳	岸本 昭 様	昭和18年07月07日	82 歳
森田 幸子 様	昭和10年07月05日	90 歳	藤本 照且 様	昭和18年07月15日	82 歳
定岡 卓藏 様	昭和10年07月05日	90 歳	岡野 秀規 様	昭和19年07月19日	81 歳
廣元 吉子 様	昭和10年07月20日	90 歳	上梶迫 省志 様	昭和26年07月21日	74 歳
升原 要子 様	昭和10年07月26日	90 歳	宮脇 雅照 様	昭和34年07月12日	66 歳

お誕生日おめでとうございます。
みなさまこれからもますますお元気で!!

STAFF 発行所 / なごみの郷 おたっしやかわら版編集部

〒739-1732 広島市安佐北区落合南町196-1

T e l 082-841-1331 F a x 082-841-1336

URL <http://www.nagominosato.jp>

Email nagomi@nagominosato.jp

(当紙面は、個人情報保護法に基づき、掲載させていただいている個人の名前・写真などは、全てご本人様又はご家族様に了承をいただいております。)

元気で明るく家族と共に自立支援

～ イキイキとした生活作りをお手伝いいたします～

令和7年スローガン

“挑戦なくして成長なし 自ら変えよう なごみの未来”